



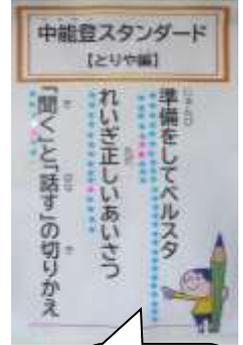
【学校教育目標】ふるさとを愛し、仲間と共に 未来を切り拓く児童の育成



生き生きと学べた1学期！



5月の学校だよりでお知らせしたように、本校では、今年、授業において「中能登スタンダード」を掲げ、掲示用紙に★シール（できているマーク）を貼り、学校全体で前向きに取り組んでいます。そのおかげか、どの学級でも始業チャームと同時に、礼儀正しい挨拶で授業をスタートさせることができた1学期となりました。先生や友達の話をしっかり最後まで聞こうという姿勢も身に付いてきました。1学期は、このような授業を支える基礎の部分がかかりでき、落ち着いたある授業でありながらも、コミュニティスクールによる授業サポートや地域の社会科見学、体験学習、聞き取り等の学習で、多くの方々にご協力いただいたおかげで、子ども達が生き生きと意欲的に学習し、しっかり学びのある活動を行うことができました。皆様のご協力に感謝いたします。



各教室の「中能登スタンダード」には、★マークがたくさん！



3年生社会科で長屋農園様を見学させていただきました。



3年生器械運動では北口氏による2回目のサポートと横山氏によるサポートをいただきました。



4年生の総合「福祉」の学習では、金沢市の酒井氏、専田氏をお招きし、講話後、フライングディスク体験、車椅子体験をさせていただきました。

2年生の生活科「町探検」では、ヤマモト自工様、鳥屋酒造様、鳥屋比古神社様、創修館様に見学をさせていただきました。



6年生総合「防災」の学習で、チームスで輪島高校の森山氏から、メールで珠洲市役所職員の竹澤氏から能登半島地震やその被災状況を聞き取りさせていただきました。



水泳学習では、小林氏、岡野定氏、横山氏が授業サポートを、大村氏と平岡氏が見守りサポートをしてくださっています。



毎年、全学級の読み聞かせをしていただいています。今年度初は、坂本氏、多田氏、澤氏、久保氏が低学年に読み聞かせをしてくださいました。

学校じゅうのみんなが応援！

3年生による器械運動発表会！



6月27日、本校体育館にて、3年生が器械運動発表会で鉄棒、マット、跳び箱の3種目に挑戦しました。技の上達を目指して練習した約1か月、感心したことが多くありました。すばやく準備と片付けをする姿、聞く時と活動する時の切り替えの素晴らしさ、諦めずに何度も練習する粘り強さ、そして、友達と協力し教え合いながら練習する姿・・・など、技の習得だけでなく、多くの学びや成長がありました。また、6年生が教えにきてくれたり、昼休みのリハーサルでは全校のみんなが見に来てくれたり、他の学年から応援メッセージをもらったりと、多くの異学年交流の機会となり、学校じゅうが3年生を応援していました。その応援を受けて、本番では、3年生は自分ができる技を堂々と披露することができました。保護者のみなさんによる応援や励ましの言葉も大きな力となりました。ありがとうございました。



★3年生による器械運動発表会リハーサル及び本番の様子★

◇SOUKIの皆さんによるパントマイム公演

鳥屋小学校では毎年恒例になっている文化庁による文化芸術鑑賞会が、6月18日に行われました。今年は、スーパーマントマイムシアターSOUKI(そうき)さんによる公演です。エスカレーターや壁等の基本のパントマイムに始まり、最後の寸劇を交えたパントマイムまで、声のない世界とは思えないほど、すばらしい表現力に皆の目が釘付けになりました。最後の児童のお礼では、6年生の森口光留さんと谷口瑛太さんが見事なパントマイムのお返しをつけて、感想とお礼の言葉を述べ、会場を沸かせました。公演後には6年生がワークショップでパントマイムを体験させていただき、表現するためには想像力を豊かにすること、そのために様々な経験や体験をすること、そして、経験や体験を恐れず何事にも挑戦することが大切だとお話をしてくださいました。さらに演技者の中には視覚障害の方もいらっしゃり、「福祉」をテーマに総合的な学習を進めている4年生と交流の時間をもってくださいました。楽しく学びのあるSOUKIさんの公演及びワークショップ&交流会となりました。



お礼のパントマイム

6年生ワークショップ

◇PTAによる心肺蘇生講習会&教育講演会「防災」



同じく6月18日、午後よりPTA育成部による5・6年生の保護者を対象にした心配蘇生講習会、そして、教養部による全保護者と6年生を対象にした「防災」をテーマにした教育講演会が行われました。心肺蘇生講習会には、夏休みにプール当番のご協力をいただく5・6年生の保護者の皆さんにたくさん参加していただき、恵寿総合病院の職員様より丁寧にご指導いただきました。また、教育講演会では、中能登消防署の職員様より能登半島地震や災害時の避難行動についてお話をいただき、最後に煙中体験をさせていただきました。今回、煙中体験が想像以上に怖かったという声が多くありましたが、実際の火事では煙でもっと怖く危険な状況になるとのことです。相当な冷静さが必要です。2つのPTA行事から、知識をもっていること、疑似体験を積んでおくことの大切さを感じました。行事を企画・運営して下さったPTAの担当の皆さん、参加して下さった皆さん、本当にありがとうございました。



煙中体験

◇今年度からほっとルームを新設



町内3小学校で、今年度4月よりほっとルームが新設されました。ほっとルームとは、何らかの理由で学校への登校がスムーズにできなかったり、登校できても教室に入ることが難しかったりする児童が、教室に入る前のステップとして、心を落ち着かせて安心して過ごせる場所として活用するものです。ほっとルームには、ほっとスタッフとして職員が1名おり、児童と過ごすことにしています。ほっとスタッフは、児童の気持ちに寄り添いながら、学習を見守ったり簡単なものづくり等の活動をいっしょにしたりして過ごします。児童の心が落ち着き、教室に入れるようなら、いつでも自分の教室に入って学習することができます。本校のほっとルームは、低学年棟の2年2組の奥の教室となります。ほっとルームの利用について、質問や相談がありましたら、担任や教育相談担当の小林、その他、相談しやすい職員にご連絡ください。



鳥屋小ほっとルーム